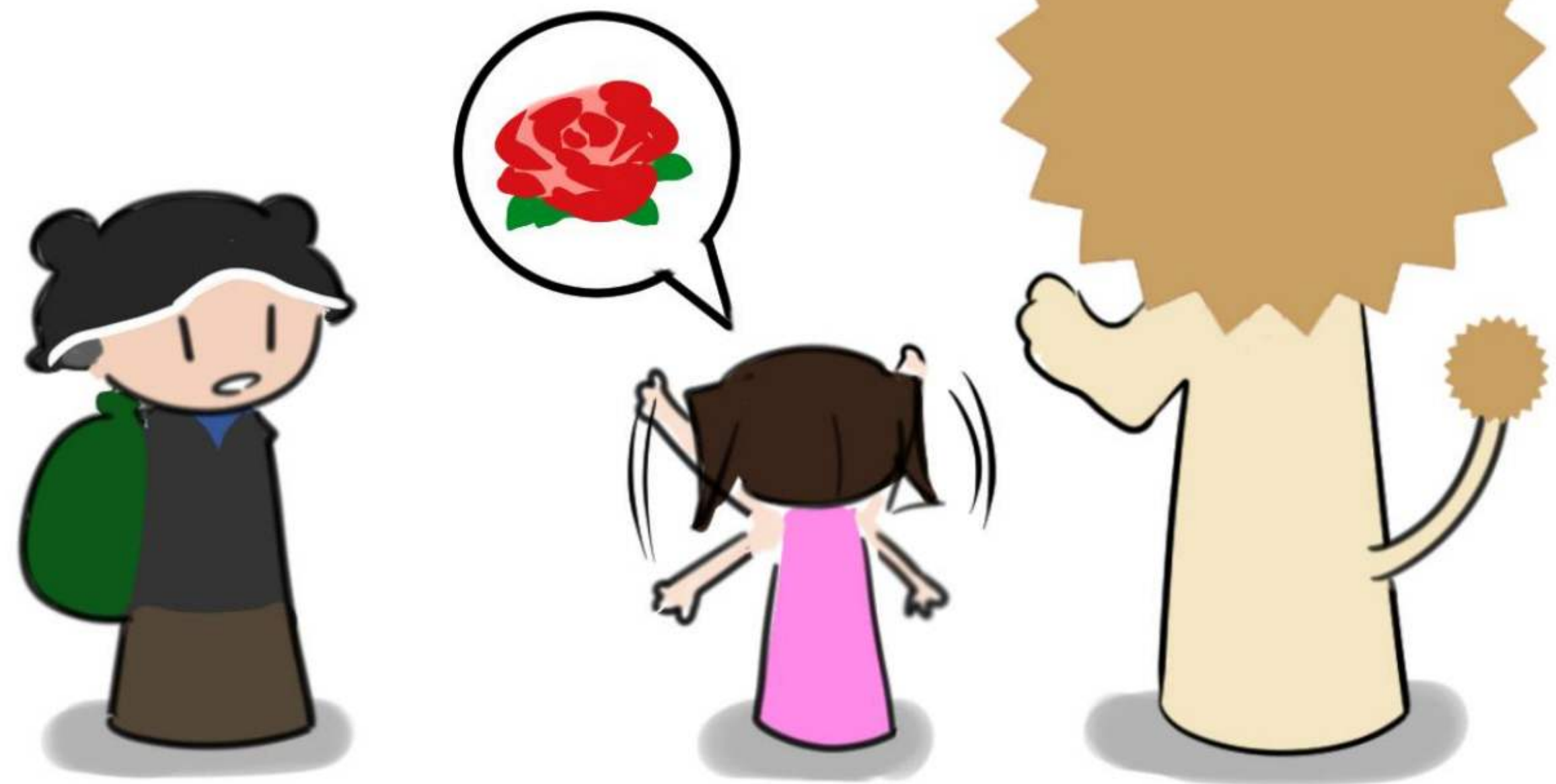


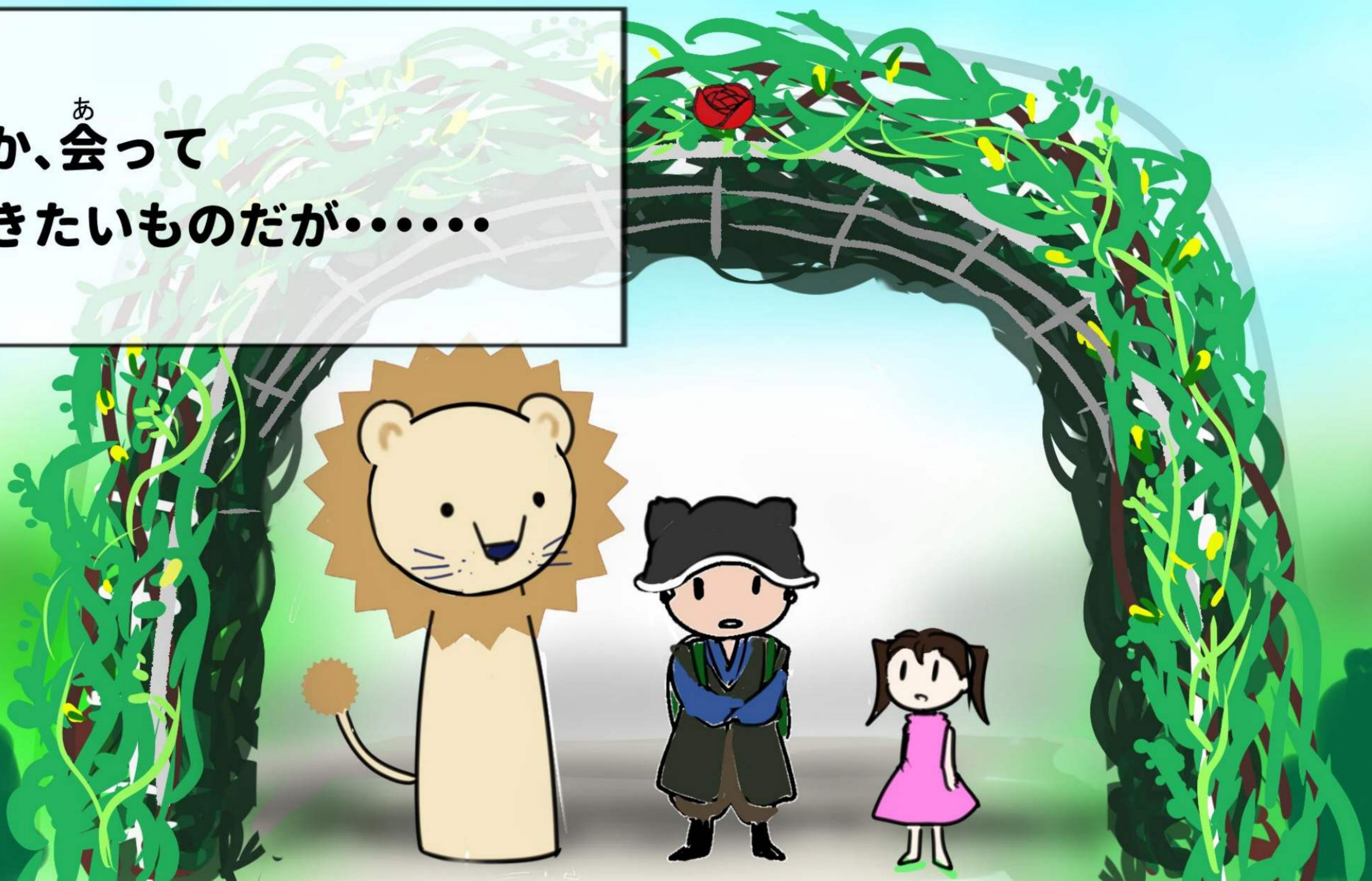
伊奈吉たちはクマゾウに、  
けんかつなか み ふしぎ かげの中で見た不思議な影のことを  
はな話はなしました。



「それは、まさに  
いまさがいまさが今探している妖精ようせいかもしれないな！」

かれかれ彼らはこの園えんで生まれ、  
バラはなの花をきれいに咲かせる  
まほうまほう魔法ちからの力もを持っているらしい。

なんとか、会あって  
はなしはなし話が聞きたいものだが……





ふと、  
けはい  
気配がして



伊奈吉が  
アーチの<sup>うえ</sup>上を見<sup>み</sup>あげると

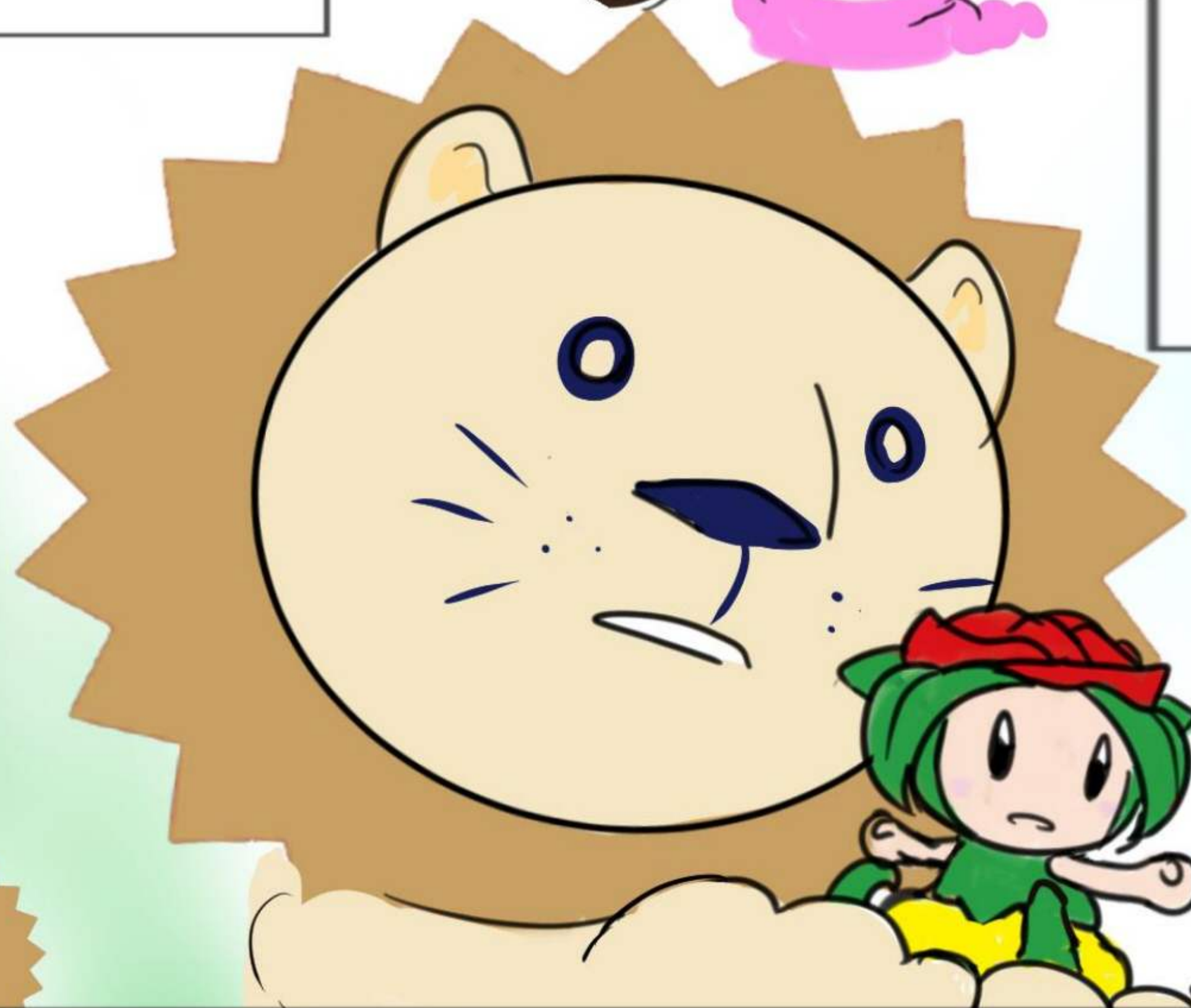
そこに  
「伊奈ローズちゃん」が  
いました。

伊奈ローズちゃんは  
伊奈吉たちのところに  
お  
降りてきました。



み  
「見つけた！」

「よかった、<sup>きみ</sup>君たちを  
<sup>さが</sup>ずっと探していたんだ。



<sup>きみ</sup>君たちが、ここで起こっていることについて  
<sup>お</sup>何か知っているんじゃないかと……」

「そういえば、  
もうひとり？」

<sup>きみ</sup>君たちは双子だと  
<sup>ふたご</sup>聞いているが……」

